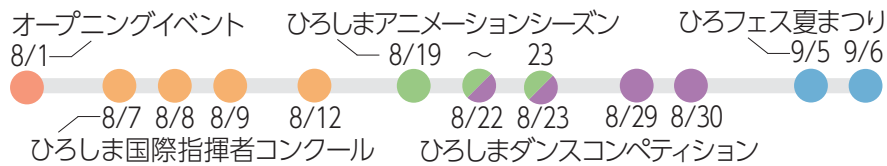


第3回 ひろしま国際平和文化祭 HIROSHIMA FESTIVAL 2026

■全体スケジュール 8月1日(土)～9月6日(日)

詳しくは同文化祭
ホームページで



■オープニングイベント



音楽とメディア芸術とストリートダンスが連携したステージのほか、「平和文化」の振興などへの貢献が期待される団体または個人に贈る「ひろしまアワード」の表彰式を行います。
日 8月1日(土)17:00～19:00
場 JMSアステールプラザ

ひろしま国際指揮者コンクール

国内外から集まった若手指揮者によるコンクールを開催します。
場 JMSアステールプラザ

◆1次予選

日 8月7日(金)、8日(土)の14:00開演

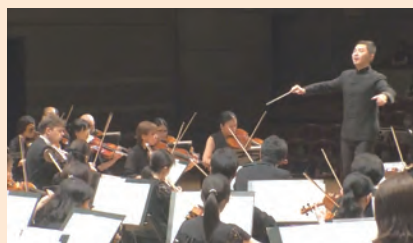
料 一般1,000円、学生500円

◆2次予選

日 8月9日(日)14:00開演

注 1次予選通過者の指揮による演奏

料 一般2,000円、学生1,000円



◆本選

日 8月12日(水)17:00開演

注 2次予選を通過した3人の指揮者による演奏。1～3位を決定。鑑賞者の投票による「聴衆賞」も決定

料 一般3,000円、学生1,500円

隔年で開催しているひろしま国際平和文化祭(ひろフェス)。日常の生活や文化活動の中で、平和への思いを共有する「平和文化」の環境づくりの一環として、音楽、メディア、ダンスなどの特色を生かしたイベントなどを開催します。
固 ひろしま国際平和文化祭実行委員会事務局(☎245-0261、☎504-5658)

■ひろしまアニメーションシーズン

日本で唯一米国アカデミー賞公認のアニメーション映画祭。世界最新のアニメーション作品を審査するコンペティション、300を超える作品の上映・展示などを行います。

日 8月19日(水)～23日(日)

場 JMSアステールプラザほか

注 上映スケジュールやチケット購入方法などは左記二次元コードで



▲上映される作品の一部
「風が吹くとき」 ©MCMLXXXVI

■ひろしまダンスコンペティション

広島広域都市圏内から集まったダンスチームによるパフォーマンスを審査・表彰します。表彰チームは、ひろフェス夏まつりに出演。

日 8月22日、23日、29日、30日の(土)、(日)。10:15から(終了時間は日によって異なります)

場 広島駅南口地下広場



■ひろフェス夏まつり

広島広域都市圏内で活躍するアーティスト、吹奏楽団、ダンスチームなどによるステージ、同圏内の特産品の販売などを行います。

日 9月5日(土)、6日(日)の11:00～18:00

場 広島駅南口地下広場、川の駅広場



出演アーティスト(一部)
 ●OCHA NORMA(広本 瑠璃、西崎美空、北原もも)
 ●瑛人 ●陽真 ●寿理 など

被爆の実相を資料から読み解く

9月29日(火)まで、中央図書館で被爆に関する所蔵資料の展示や講演会などを開催します。被爆の実相や復興の過程を学びませんか。
固 中央図書館(☎298-0560、☎298-0561)

被爆の状況を記録から知る

「8月6日 ああ、場所」をテーマに、市内8区の被爆状況に焦点を当て、『広島原爆戦災誌』をはじめ、被爆の惨状、被爆後の混乱や復興の状況を知ることができる図書館所蔵(下写真)の資料を展示します。



左から『広島、1945』南々社編集部/編・著 南々社(2012年)、『広島原爆戦災誌』1～5巻 広島市/編 広島市(1971年)、『証言 原爆で消えた町から』ヒロシマ・フィールドワーク実行委員会/編 ヒロシマ・フィールドワーク実行委員会(2007年)



開催期間 9月29日(火)まで

期間中の開館時間 平日10:00～21:00、

(土)、(日)、(祝)、8月6日10:00～18:00

期間中の休館日 第2月、7月31日

詳しくは同館ホームページか、お問い合わせを。

広島市立中央図書館

検索



証言を聞く会や講演会を開催します

①被爆体験者の証言を聞く会

被爆体験と平和への思いを聞く

【日時】 8月9日(日)13:00～15:00

【講師】 広島県原爆被害者団体協議会相談員・波田保子氏

②講演会「記録と記憶から読者に伝える」

中国新聞連載企画の「ヒロシマドキュメント」に込めた思いなどを

聞く

【日時】 9月6日(日)13:00～15:00

【講師】 中国新聞社編集局編集委員・水川恭輔氏

【申し込み】 同館ホームページ(上記二次元コード)か直接、電話、ファクスで。手話通訳、要約筆記が必要な場合は、各開催日の2週間前までに。先着①②各60人

こども・女性対象の犯罪被害を防ぐ

こどもや女性を狙った盗撮、ちかん、つきまといなどの事案が絶えません。防犯ブザーやスマホアプリなどを活用して、身を守る工夫をしましょう。

固 市民安全推進課(☎504-2714、☎504-2712)

防犯ブザーの活用を

こどもや女性を狙った犯罪や声掛け事案は、市内で昨年1,268件(把握件数)発生しています。

こうした犯罪を防ぐために、市立小学校では1年生を対象に防犯ブザーを配布しています。また、近年では身につけていることに違和感を感じさせないキーホルダーなどのデザインや、ブザー以外にポーチとして使えるものなど、大



人の女性でも使いやすいものが市販されています。

被害に遭わない行動を

防犯ブザーの準備以外にも、●暗い路地や人通りの少ない所を通らない ●なるべく複数人で行動するなど、被害に遭わないための行動を確認しておきましょう。防犯の豆知識など、詳しくは市ホームページで。

市HP ページ番号 1020441



県警アプリ「オトモポリス」

オトモポリスには、皆さんの安全な暮らしをサポートする機能が多数備わっています。毎日の心強いお守りとして活用してください。

ダウンロードしてね!

オトモポリス

検索



「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動
マスコットキャラクター モシカ

●ちかん撃退機能

混雑した乗り物内では、アプリ画面を開いて持っておくだけで、ちかん行為の抑止につながります。



●防犯ブザー機能

画面のボタンを押すと最大音量でブザーが鳴り、事前に登録した家族に位置情報を知らせることもできます。

